



もうちょっとこっち



こうやったら
ガタガタしやへんねん



前日の子どもの姿
日向と日陰で水の温度が
違うに事に気づいています

この日の子どもの姿
前日の学びを生かして
遊んでいます

エピソード

水、泥遊びが始まった2日目。昨日の続きで島づくりが始まりました。島の周りに水がたまると、A児「海ができてきた」B児「これで橋をかけよう」と近くにあった長い木の板を島と対岸に渡しました。「それいいな」と友達も賛成し、体育倉庫から木の板の端と端を友達と持って運び、「もうちょっとこっち」などと声をかけ合いながら橋づくりを進めていました。しばらくするとB児「まだ渡ったらあかんて」と声をかけ、橋の両端を砂で覆っていました。T「何をしているの？」尋ねると、A児「こうやったら橋がガタガタしやへんねん」と教えてくれました。「よし、完成。渡っていいよ」との声に、子ども達はうれしそうに橋を渡っていました。

その後「橋を渡ったら足湯に入ろう」と海の周りにイスが並べられました。昨日に別の所でイスを並べていたので、T「ここで何をしているの」と尋ねると、C児「ここ、足湯やねん」と教えてくれました。D児「先生も入ってみて。あったかいよ」と足をつけると、じんわり温かさを感じました。T「ほんとだね、あったかい。昨日はあっちでしてたけど、今日はこっちなんだね」と話すと、C児「こっちの方がお日様が当たってるからあったかいねん。あっちは冷たいよ。」と日陰の海を指さしていました。

保育者の思い

- ・保育者が周囲にも聞こえるように声をかけることでイメージを共有し、遊びを広げてほしい
- ・子ども同士で考えを出し合い、協力しながら遊びをすすめてほしい。
- ・試したり工夫したりしながら、橋がぐらつくという問題を自分たちで解決してほしい。
- ・身近な自然や環境に興味をもち、不思議さや面白さに気付いてほしい。
- ・自分たちの力で遊びを実現したという達成感や満足感を味わってほしい。

子どもの育ちや学び

- ・「橋をかける」という目的を友達と共有し、遊びを進める姿が見られます。
- ・自分の考えや気づきや経験を言葉で伝え、イメージを共有し、友達と相談しながら遊びを発展させています。
- ・橋の端を水と砂で固めることで、橋が安定することに気づき、自分たちなりに工夫しています。
- ・橋が完成する前に、友達に声をかけ、安全にわたるための見通しをもっています。
- ・友達の声かけにより、友達の思いを受け入れ、できあがりを楽しみにしたり、見守ったりしています。
- ・友達の意見を聞いて、認め合っています。
- ・日向と日陰の違いや水の温かさの変化に気づき、自然事象への関心を深めています。
- ・橋づくりから足湯へと発想を広げ、遊びを発展、展開させています。

3つの資質と能力

【知識や技能の基礎】

- ・木の板は長くて重いので、友達と協力して運ぶ必要があることを理解している。
- ・橋の両端を砂で固定すると安定することを経験的に学んでいる。
- ・日向の水は暖かく、日陰の水は冷たいという自然現象に気付いている。
- ・水や泥、木の板などの素材の性質を遊びながら体感している。

【思考力・判断力・表現力等の基礎】

- ・海ができ、近くに木の板があったことから「橋をかけよう」と発想し、言葉で友達に伝えている。
- ・橋がぐらつく原因を考え、砂で固定する方法を見出している。また「まだ渡ったらあかんて」と状況を判断して友達に伝えている。
- ・足湯をつくる場所を、太陽の熱で水が温まることに気づき、日当たりという条件を考えて選んでいる。

【学びに向かう力・人間性等】

- ・前日の遊びの続きを自ら始めるなど、継続して遊びに取り組む、橋作りから足湯へと遊びを広げている。
- ・友達の意見に共感し、一緒に遊びを進めている。
- ・共通の目的に向かって協力し合い、達成感や満足感を味わいながら楽しんでいる。
- ・完成するまで橋を渡らず、ルールを守ろうとしている。